

A man in a dark suit and light blue tie stands in front of a large, moss-covered tree. He is holding a white wool ball in his hands. The background shows a building with a tiled roof and a clear blue sky.

120th
ANNIVERSARY
MIYUKI

Wool is
Sustainable.

MIYUKI SUSTAINABILITY

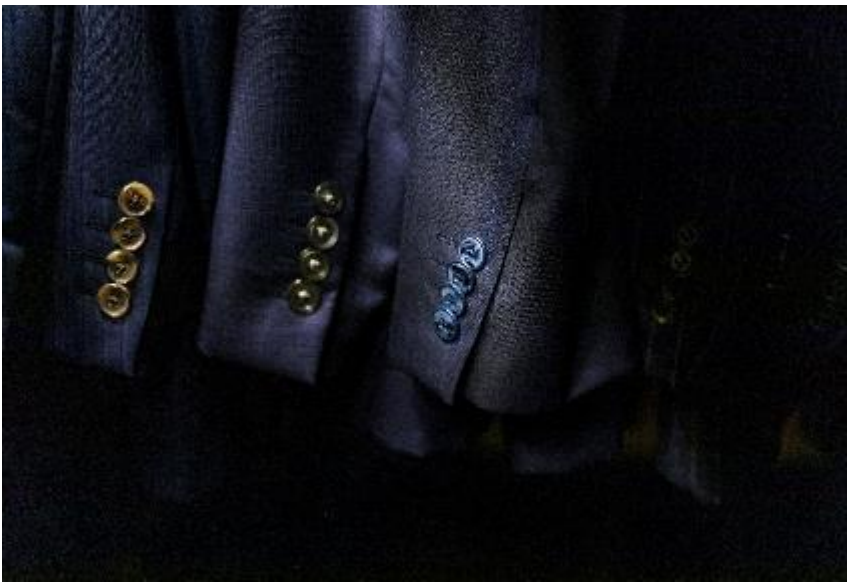
ウールの新たな可能性を人のライフサイクルの様々な場面に関わりながら、
ウールとアグリをつなげる地球にやさしいビジネスモデルをつくる。

御幸毛織株式会社
経営企画部 新規事業グループ

 MIYUKI



御幸毛織株式会社



沿革

明治38年 祖父江利一郎、織布工場（名古屋市中区前津小林）
染工場（名古屋市西区前ノ川町）を建設し創業。

明治43年 合資会社御幸毛織工場設立、資本金2万円。

大正2年 毛織物「御幸セル」がセル中の霸王として名声高める。

大正7年 御幸毛織株式会社設立、資本金50万円。

昭和9年 庄内川工場建設。毛糸紡績工場として操業開始する。

昭和32年 TV「ミユキ野球教室」放送開始。

昭和33年 高級服地「ファンシィテックス」新発売する。

平成10年 複合ショッピングセンター「ミユキモール」オープン。

平成15年 毛織物事業及び小売・卸売り事業を会社分割
不動産事業を兼営する持株会社、御幸ホールディングス株式会社に移行。

平成17年 創業100周年

平成21年 ミユキビジネスパーク稼働開始,東洋紡株式会社の完全子会社化

平成23年 城北工場の設備を移設し、御幸毛織四日市工場として操業開始する。

平成25年 御幸ホールディングス株式会社が御幸毛織を吸収合併
社名を御幸毛織株式会社とする。

令和 7年 創業120周年



MIYUKI CRAFTS SUITS



名古屋本社



四日市事業所



ファブリック事業



ガーメント事業



不動産事業



WOOL NO HATAKE

「ウールの畑」プロジェクト

AGRICULTURE
We will work on a new agricultural method that utilizes the power of wool.

SUITS/MATERIAL
We sell a variety of eco-friendly wool textile products and reuse them in agriculture.

6TH INDUSTRY
We will make the agricultural products brought by wool into the sixth industry and provide a new food culture.

GREEN GIFT
The wool provided by you will finally be reborn as a green gift.

WOOL NO HATAKE™
「ウールの畑」プロジェクト

ウールは紡いで糸にし、染めて織物にする。これが最良の利用法であると長らく考えられてきました。

しかし当社の様々な実験から従来とは全く異なる活用法があることが分かってきました。

ウールは土中の微生物によって分解され、植物に必要な栄養として土に還ります。

このことから、“**WOOL×AGRI**”をテーマに地球に優しい取り組みを進めています。

衣・食・住の全てに関わる新しい挑戦と可能性を探り、研究を行っています。

廃ウールの生い立ち

工場で廃棄されていた現状・・・何故リサイクルされないのか？



一般的な理想は・・・工場から出る“廃ウール”をもう一度糸づくり工程へ戻して活かすべき（無駄がない！！）

“リサイクル”することで同じ工程を辿る「人・モノ・金」の繰り返しとなる（再投入）⇔ **理想的なサステイナブル？**

企業としての“アップサイクル”と呼ばれるか?! → 既定路線の発想を少しだけ変えてみたら・・・



ウールの可能性

ウールには、植物が育つために必要な **栄養素**が豊富！！

(窒素・リン・カリウム 等)

N	13.6%	S	1.9%	Na	0.4%
K	0.1%	Mg	0.005%		

※出典：公益社団法人畜産技術協会

H9年度めん羊振興対策事業 めん羊生産物の有効利用及び活性方法に関する調査報告書

化学肥料不使用、生分解、環境にやさしい



“WOOL AGRI”としてのチャレンジ



四日市農芸高校の生徒の皆様と検証実験を開始！！

ウールを投入開始



※原毛は加工せずそのまま使用

活用方法（施肥量の目安）・・・

適量を土と混ぜ合わせる、もしくは株元に撒いて軽く土を被せます。
投入はウールを細かく割きます。（ひとつかみ分くらいの感覚で）
細かくすることで土の中の微生物の餌となり、ウールの分解が早くなります。
また、植物に栄養が吸収されると同時に良質な土となっていきます。

では実際はどのように分解されていくのか・・・

分解実験の結果…



約2gのウールは5週間程で分解されました。



AGRICULTURE

We will work on a new agricultural method that utilizes the power of wool.



SUITS/MATERIAL

We sell a variety of eco-friendly wool textile products and reuse them in agriculture.

WOOL NO HATAKE.

「ウールの畑」プロジェクト



6TH INDUSTRY

We will make the agricultural products brought by wool into the sixth industry and provide a new food culture.



GREEN GIFT

The wool provided by you will finally be reborn as a green gift.

地場産地との取り組み

四日市の特産といえば...

“かぶせ茶”をはじめとしたお茶の聖地！！



廃ウールを肥料として使用しました。



マルシゲ清水製茶



東京ドーム約7個分の茶園で主に“かぶせ茶”を栽培している茶農家です。

三重県四日市市水沢町は**お茶の生産全国3位**。
かぶせ茶の生産全国1位のお茶どころです。

地元特産品である“かぶせ茶”に誇りと自信を持ち、安心・安全なおいしいかぶせ茶を栽培しています。

かぶせ茶を1人でも多くの方に知っていただき、飲んでもらいたいという思いを持って栽培・販売をしています。

お茶の栽培だけでなく、かぶせカフェの運営もされていて週末には多くのお客様がお見えになります。

三重県四日市市水沢町998

☎059-329-2611

発育状況比較

(若園：今回の“つゆひかり”)



ウール使用

(通常)



ウールを肥料として使った畝の方が青々とした葉の差が見られる。

MYKウールのお茶/品種つゆひかりと 同じ年の他園のつゆひかりと比較。
 (お茶問屋が仕入れるときに重要視するのは全窒素項目/基準値は5.0%)
 AFスコアでかぶせ茶で**少しだけウールのお茶が良い**という結果

成分分析データ

茶成分分析表値			
測定日 2024年 5月 30日	測定日 2024年 5月 30日		
氏名 マルゲ香水製茶 様	氏名 様		
茶種 かぶせ茶 煎茶 深蒸し茶 玉露 ()	茶種 かぶせ茶 煎茶 深蒸し茶 玉露 ()		
荷姿・摘要 ウールのかぶせ茶	荷姿・摘要 つゆひかり		
茶成分分析計		茶成分分析計	
** 測定結果 **		** 測定結果 **	
測定日	2024/05/30 08:55:38	測定日	2024/05/30 09:40:40
産物	煎茶	産物	煎茶
サンプルID	SM1	サンプルID	SM2
カテゴリID	20240530-01	カテゴリID	20240530-02
水分	4.2 96	水分	4.9 96
全窒素	6.4 96	全窒素	6.4 96
遊離アミノ酸	4.7 96	遊離アミノ酸	4.7 96
テアニン	2.6 96	テアニン	2.6 96
繊維	19.5 96	繊維	20.1 96
タンニン	7.5 96	タンニン	7.6 96
カテキン	8.9 96	カテキン	8.8 96
カフェイン	2.5 96	カフェイン	2.4 96
ビタミンC	0.32 96	ビタミンC	0.31 96
水分基準 0.0%		水分基準 0.0%	
AFスコア	69 点	AFスコア	66 点
ランク	1	ランク	1

産学連携で完成した 『ウールで育てたお茶』



資源の無駄を減らす環境に優しい取り組みを進めています。

マルシゲ清水製茶



×

御幸毛織株式会社



×

四日市農芸高校



取り組みの効果

①科学肥料の削減

ウールで育てたお茶は廃ウールを肥料として使用したことにより
化学肥料（窒素肥料）を15%削減。

今後お茶の生育をみながら30%削減を目指します。

※農林水産省がかかげる「みどりの食料システム戦略」共鳴

②地産地消・地域活性

肥料の地元消費による輸送コストの軽減による環境負荷低減。
地域特産品のブランド価値向上による地域貢献・地域産業活性化。

③産学連携によるイノベーション

学校教育における実体験型学習からの学び
人材の育成～企業への循環



販売先・活用先



伊勢志摩マルシェ（東京）



四日市ふるさと納税返礼品



地元セレクトショップお歳暮用



四日市農芸高校文化祭



マルシゲカフェ・試飲、販売の様子(ミユキモール)



今後の課題解決・未来に向けてのアクション



コミュニティ形成 ⇔ ステークホルダー『価値の向上』のお手伝い

- ・地域創生サポート（実作業・栽培などのお手伝い）
- ・販売活動サポート（広報・販促等）
- ・各種研究・実験の情報共有
- ・展示会やイベント催しでのPRサポート

本業でないために“極める時間とコスト”をあえて取り組み先へ委ねる
→**自前主義にこだわらず**得意な分野へのマッチングを強化！！

共創利益型ビジネスモデルの構築
地域とMIYUKIと顧客



未来へ持続可能なイノベーション循環プロジェクト遂行！！

～“繋がる・繋げる”～



今後もウールの新たな可能性を信じ皆様のライフサイクルの様々な場面に関わりながら、**ウールとアグリをつなげる地球にやさしいビジネスモデル**をつくり続けたいと思います。